

□で囲んだ時間は2日目の開始時間です。



8日(土)	14:00~14:20	①浅草西参道商店街東口前
	14:20~14:40	②奥山おまいりまち商店街奥山門前
	14:40~15:00	③ROX広場前
	15:00~15:30	④まるごとにつぼんイベント広場
		休憩
	17:30~17:50	①浅草西参道商店街東口前
	17:50~18:10	②奥山おまいりまち商店街奥山門前
		休憩
	18:30~19:10	④まるごとにつぼんイベント広場 (火入れ)
	19:10~20:00	⑤オレンジ通り商店街 (火入れ)
9日(日)	11:00~11:20	①浅草西参道商店街東口前
	11:20~11:40	②奥山おまいりまち商店街奥山門前
	11:40~12:00	③ROX広場前
	12:00~12:20	④まるごとにつぼんイベント広場

集合場所
浅草パークホールビル前



当日場所が分からない場合、
所長 080-1660-0892
柳樂 080-1660-0893
栗田 090-5843-3435 までご連絡ください。

秋田市東京事務所
東京都千代田区平河町2-4-1
日本都市センター11階
担当：柳樂・栗田
TEL：03-3234-6871
FAX：03-3234-6873
E-mail：ro-pltk@city.akita.lg.jp

竿燈についてのQ&A

Q1：竿燈とはなんですか？

A1：東北三大まつりの一つで、260年以上の歴史を持つ国重要無形民俗文化財です。

Q2：大きさはどのくらいですか？

A2：大若は長さ12m・重さ50kg・提灯46個です。

Q3：秋田ではいつ開催されるのですか？

毎年8/3～6日の4日間です。竿燈総数は約270本です。

Q4：竿燈まつりの席はどのようになっているのですか？

A4：平成30年度のお申込みは開始しています。(団体4/10～、個人5/1～)

枡席(定員6名) 1枡 20,000円(定員6名)

S席 3,000円(中央道壇上ひな壇席)

A席 2,500円(上記以外のひな壇席およびパイプイス席)

B席 2,100円(長いす席)

Q5：起源は？

A5：江戸時代中期「ねぶり流し」「眠り流し」と呼ばれる睡魔払いのお盆行事でした。昔は、夏になると暑さが厳しく、労働もきつく、ついつい眠くなり、その隙に病魔が忍び入り、眠り病に冒されると考えられていたため、その睡魔を退治するために眠り流し「竿燈」を行ったと伝えられています。

Q6：どのような技がありますか？

A6：→

流し

次の差し手が竹を継ぎやすいように支える。二人で竿燈を起し、利き手で差し上げ、次の差し手が継竹を足す。高く差し上げいったん手のひらに静止。指の間から15～20センチずらして持ちこたえる。



平手

高くとかざし上げて見せる、力強く豪快な竿燈の基本技。前の差し手は継ぎ終わるまで静止し、持ちこたえる。二本目の継竹を足し、手のひらにかざして静止。指の間からずらして次の差し手に余裕を持って流す。



額

首の根っこが座った、重量感あふれる技。前の差し手から利き腕の手のひらで受ける。指の間から静かにずらしながら額に乗せる。静止して、両手を大きく開いてバランスを取る。



肩

差しやすく、もっとも覚えやすい技。利き腕の手のひらに受けて静止。利き腕を曲げないでまっすぐ肩に降ろす。利き腕をまっすぐに伸ばし軸足と肩を一直線に。片手で持ち上げ次の差し手へ。



腰

かなりの修練が必要で派手な技。利き腕の手のひらに受けて、持ち上げ静止させる。指の間からずらして腰にのせ、上体をほどよく横に傾ける。両足を開いてバランスを取る。

